

ゆう・ゆう (遊・友) ひろば

オープン



手づくりの看板



□ 1トした大学が協力し合うことで絶大な効果が生まれるのではないかと考え、吉備国際大学たかはし子育てカレッジ実行委員会を設置し、子育ての広場を7月1日からスタートさせることとなりました。

開設に当たり、この広場の名称を市民の皆さんから募集したところ、107通の応募があり、その中から佐久間和久さん(66) (伊賀町) が「子どもたちの遊び、友だちになる場所になってほしい」という思いで名付け

7月1日、子育ての広場「ゆう・ゆう (遊・友) ひろば」が吉備国際大学短期大学部9号館でスタートしました。これは、市と吉備国際大学が協働で運営するものです。今回は、その取り組みについてご紹介します。

子育て支援センター

市が「子育て支援センター」を高梁保育園内に設置したのは、平成16年4月のことでした。急速に進む少子化や核家族化の中で、子どもを持つ親が不安しいと考え、同センターでは、月2回、保育サロンを実施。夕涼み会や運動会など、親子が集まってできる催しを行い、子育て支援の充実に取り組んできました。

現在、子育て支援に対するニーズも多様化してきており、市は支援センター機能をさらに充実したものにしていくため、吉備国際大学と連携し、大学の持つ知的財産を生かしていきたいと考えました。

子育てカレッジ

県においては、平成19年度から「おかやま子育てカレッジ」事業が推進されてきました。この事業は、大学内に子育てを支援する拠点を設け、大学・地域・行政が協働して設置・運営していくという取り組みです。

吉備国際大学では、平成21年度から「吉備国際大学たかはし子育てカレッジ」に取り組んでおり、子育て教育の実践、研修の場としても期待されているところです。

子育ての広場オープン

□ そうした中、子育て支援センターの充実を図りたい市と、子育てカレッジの取り組みをスタ

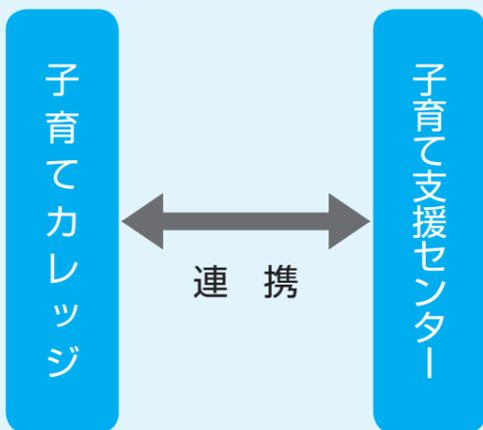
た「ゆう・ゆう (遊・友) ひろば」に決まりました。これまで月2回だった保育サロンは、「ゆう・ゆうひろば」として、月曜日から金曜日まで週5日間 (祝日を除く) 開くことができるようになりました。ひろばには保育士が常駐し、親子で楽しめる遊びを考え実践します。室内の絵本やおもちゃで遊ぶこともできるほか、保育士が育児相談などにも応じます。また、金曜日のオープンスペースでは、季節感のある遊びを思いきり楽しめま

8月のオープンスペースの予定

日 (曜日)	内 容
6日 (金)	すくってあそぼう水あそび
13日 (金)	水あそびをしよう
20日 (金)	寒天デザートでままごとあそび
27日 (金)	すずしくなる季節にむけて

※時間は午前10時～午前11時30分

ゆう・ゆうひろば



参加

子育て中の親子